

卒業生の活躍

1

—ロボット技術の医療・福祉応用—

秋元 俊成さん（機械工学科卒）

2013年12月7日、東洋大学工業技術研究所と連合育成会共催の講演会が行われ、日本工業大学創造システム工学科助教の秋元俊成氏（機械工学科2003年卒）が講演されました。

講演内容は、これまでに秋元氏が開発してきたロボットの紹介から始まり、医療・福祉の分野で現在ロボット技術がどのように利用されているか等を紹介されました。ロボット技術が抱える問題や将来性など大変興味深いものでした。

秋元氏は機械工学科卒業後、東洋大学大学院で博士号を取得され、現在日本工業大学の助教として、医療福祉ロボットの教育研究で活躍されています。また、連合育成会の役員としても、東洋大学学生に対して積極的に支援してくださっています。



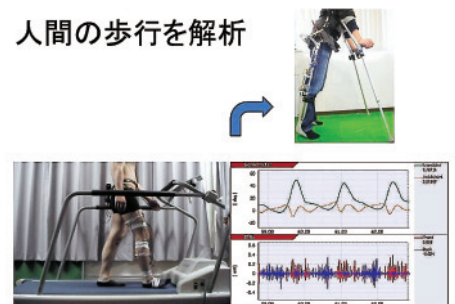
東洋大学 ロボット研究会
（初めて作ったロボット）



側弯症計測装置



人間の歩行を解析



サンリット工営株式会社 代表取締役社長

2

日高 修一さん（応用化学科卒）

私は1974年に応用化学科を卒業した東洋大学のOBで、社員には建築学科の卒業生もおります。また、東洋大学工業技術研究所の賛助会員でもあり、共同開発テーマを模索中でもあります。会社内容としては、アルミ合金製の手摺、ルーバー、EXP.J.Cなどビルの外装材の製造メーカーです。手摺といえば、30年以上前の創業時には、鉄製がほとんどで、縦格子とパネルの2種位しかなく、デザイン的にも非常に貧弱なものでした。弊社では、縦ルーバー、横ルーバー、ガラスなど、あらゆるタイプの手摺を、支柱を一切見せないバックマリオンタイプとしてプリオーレという商品で発売致しました。手摺という商品での提案型商品はその頃ほとんどなく、普及するまで30年かかりましたが、今、町並みを見ると、手摺のほとんどが当社の提案したバックマリオンタイプに変わりました。自分達で考え出した商品で町の外観を変えていこうという会社の考え方は今でも変わらず一貫しています。



当社施工事例